

# 時代を超えて選ばれ続ける 革新的なエネルギー & サービスカンパニーへ

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/company/ir/>

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。

2018年12月  
大阪ガス株式会社（証券コード 9532）

# 本日の流れ

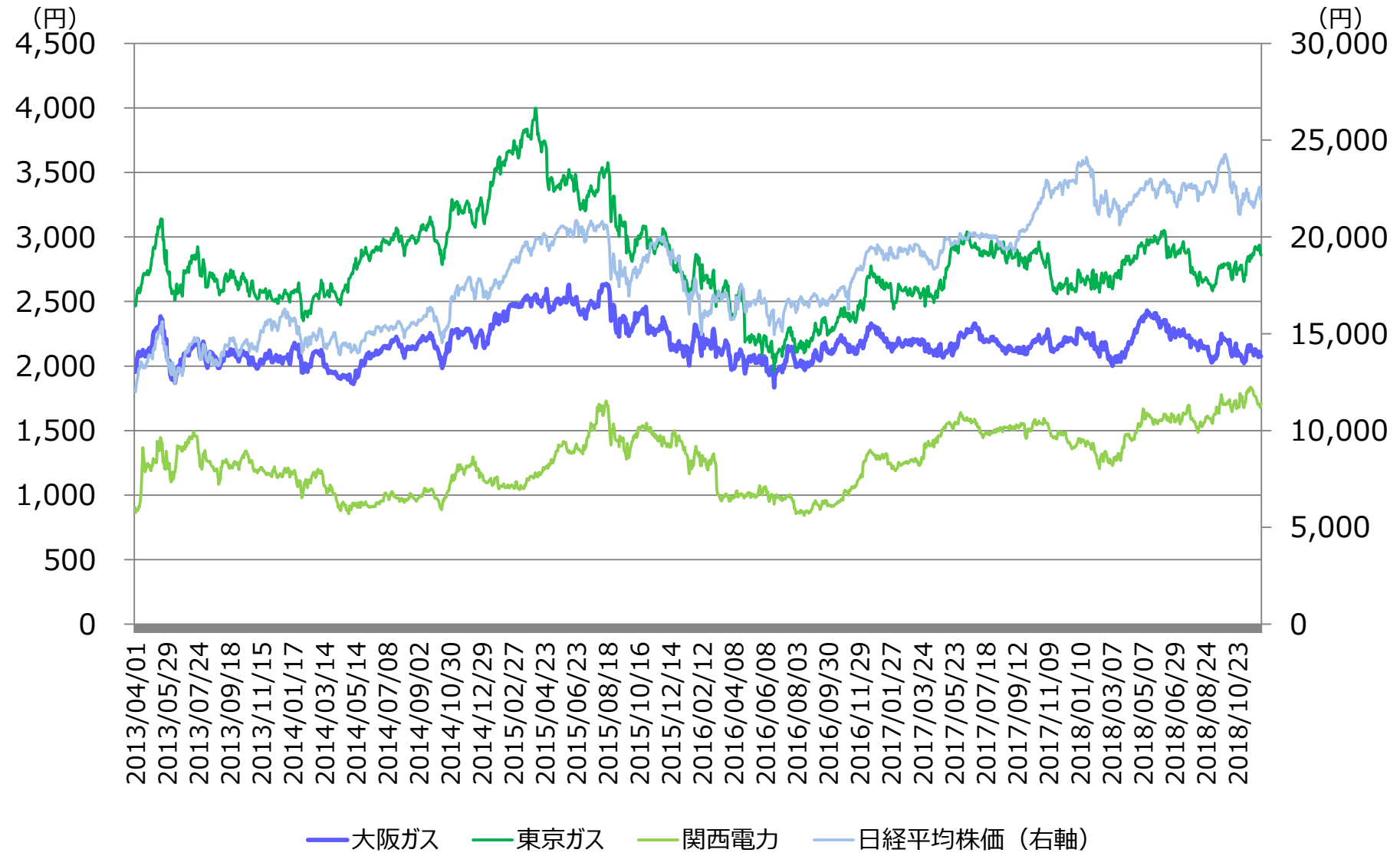
1. はじめに
2. Daigasグループの概要
3. Daigasグループ長期経営ビジョン・中期経営計画  
～Going Forward Beyond Borders～
4. ESGへの取組み
5. 業績の推移

## 本日お伝えしたい点

**安定性**

**成長性**

# 大阪ガス株価の推移 (2013/4/1~)



## 大阪ガスの株価指標等（12月5日時点）

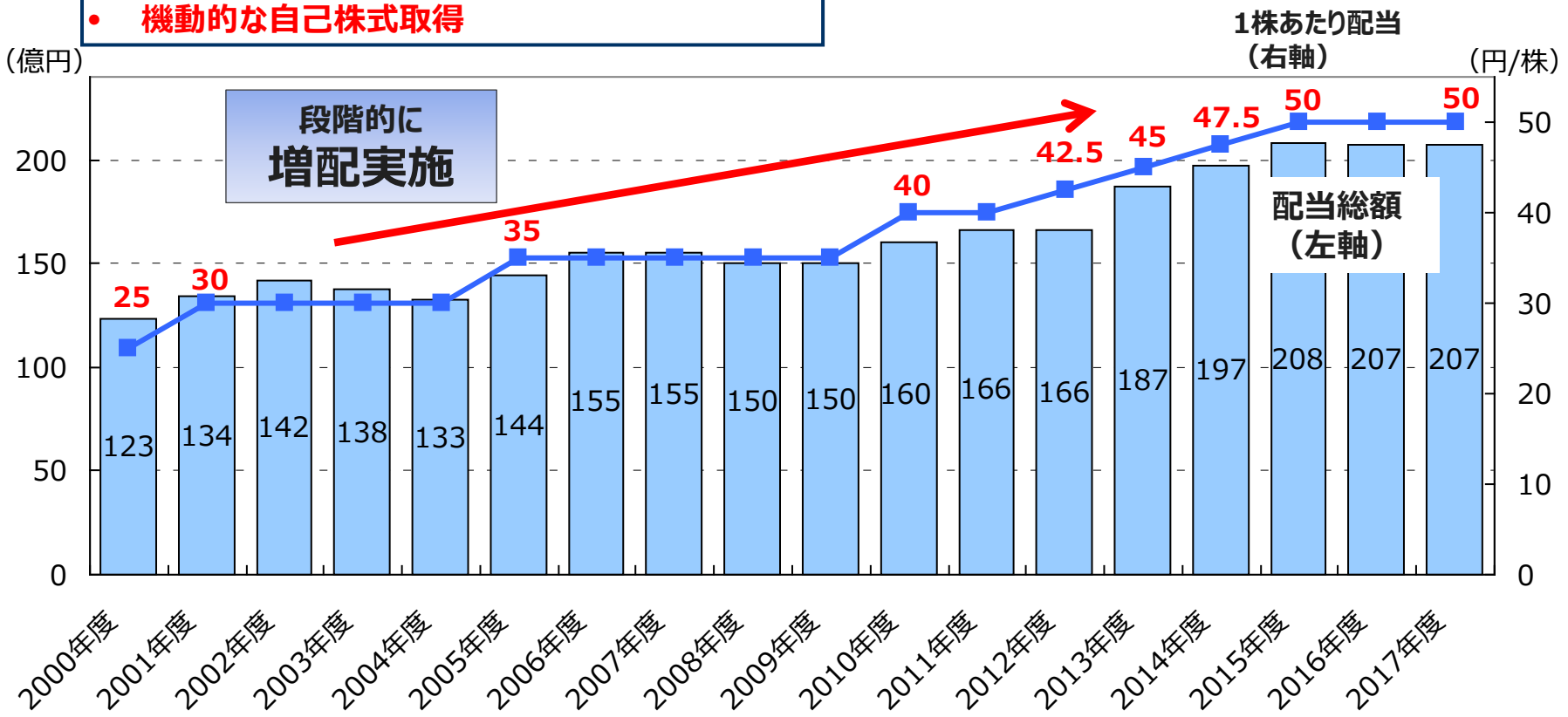
	株価 (円)	配当利回り (%)	PER (倍)	PBR (倍)	自己資本比率 (%)
<b>大阪ガス</b>	<b>2,075</b>	<b>2.4</b>	<b>22.9</b>	<b>0.9</b>	<b>52.5</b>
東京ガス	2,860	1.9	17.4	1.1	48.7
関西電力	1,711	2.9	10.1	1.1	20.8
日経平均	21,583	2.1	12.0	1.2	-
東証一部 全銘柄	2,060	1.9	13.7	1.2	-

※株価は2018年12月5日終値、EPSは2017年度実績、BPSは2017年度末実績を使用  
 配当利回りは2018年度予想ベースで算定

# 株主還元の方針

- 【株主還元方針】**
- 安定配当を基本とし、連結配当性向30%以上（短期的変動要因を除く）
  - 機動的な自己株式取得

※1株あたり配当は、5株を1株に併合した後の配当額を記載



## 自己株式の取得状況

2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2007年度	2010年度
146億円	183億円	200億円	200億円	300億円	200億円

# 2.Daigasグループの概要

## Daigasグループ企業理念

### Daigasグループの目指す姿

「暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループ」

### Daigasグループの宣言

Daigasグループは、4つの価値創造を実現します

「お客さま価値」の創造を第一に、これを「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の創造につなげます。

お客さま価値の  
創造

社会価値  
の創造

株主さま価値の  
創造

従業員価値の  
創造

### Daigasグループ社是

「サービス第一」

※ Daigasグループ経営理念：

<http://www.osakagas.co.jp/company/about/brand/index.html>



# Daigasグループの概要

創業	1905（明治38）年
グループ従業員数	19,997人
大阪ガス従業員数	5,617人

※従業員数は2018年3月末時点

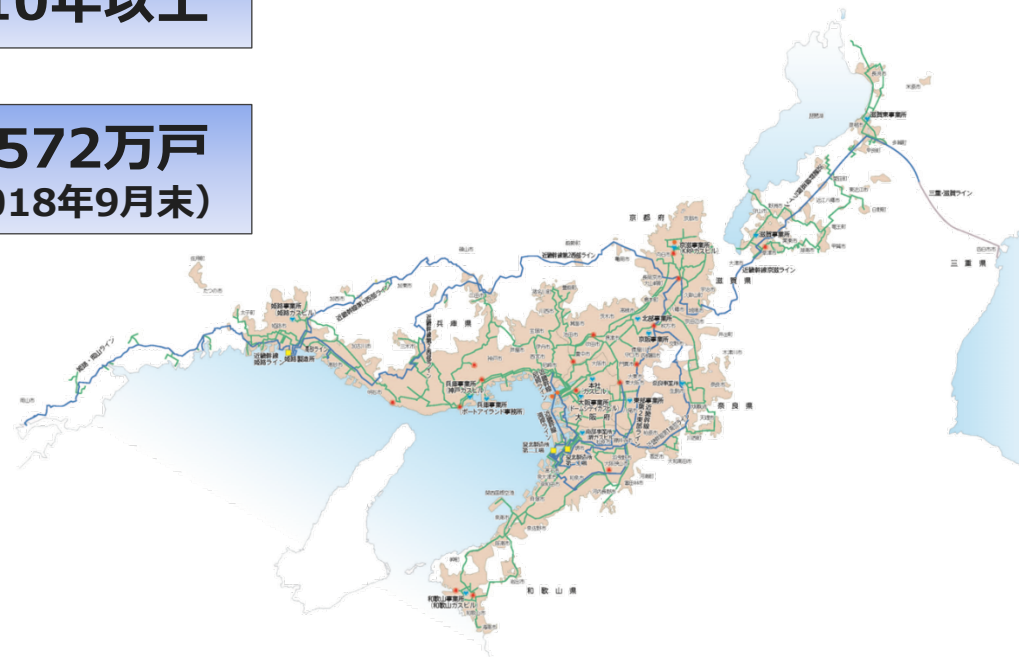


本社ガスビル（大阪市中央区）



110年以上

約572万戸  
(2018年9月末)



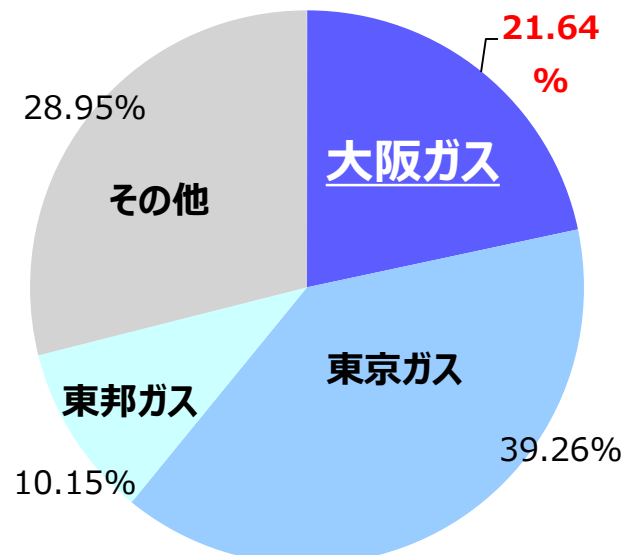
## 大阪ガスのガス販売規模

(全国)

事業者数 (2018年3月末時点)	241事業者
ガス販売量 (2017年度)	39,652百万m <sup>3</sup>

※ガス販売量は1m<sup>3</sup>当たり45MJに換算

### 全国における大阪ガス（連結）のガス販売シェア (2017年度実績)



全国の  
約1/5

国内  
第2位

電力・ガス取引監視等委員会「ガス取引報」より

# 天然ガスと他の化石燃料との比較

## 化石燃料の燃焼生成物等の発生量比較（石炭を100とした場合）

### CO<sub>2</sub>排出量比較



### NO<sub>2</sub>排出量比較



### SO<sub>x</sub>排出量比較



出典 CO<sub>2</sub> : 火力発電所大気影響評価技術照明調査報告書1990.3/エネルギー総合科学研究所  
 NO<sub>x</sub> : 「IEA (国際エネルギー機関) Natural Gas Prospects to 2010」(1986)

# Daigasグループの事業内容

## 天然ガスバリューチェーン



## 国内エネルギー・電力



## 国内エネルギー事業・ガス

## 海外エネルギー事業（上流～中下流）

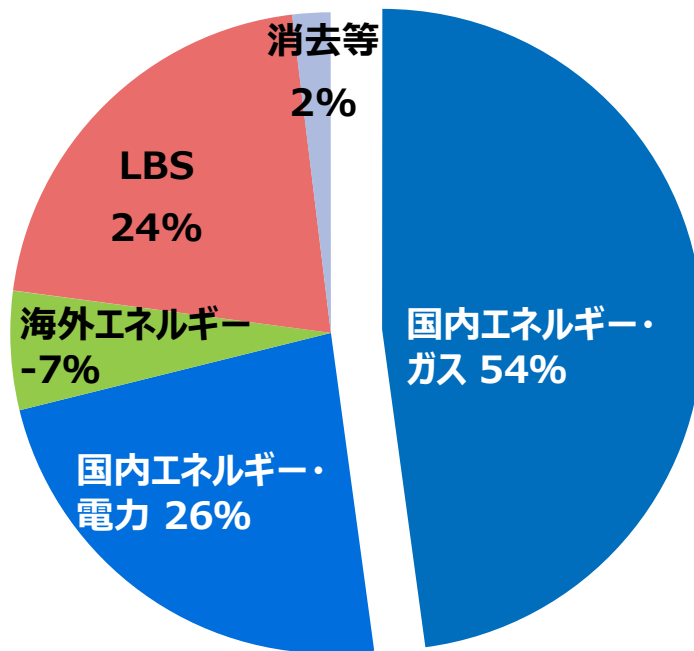


都市ガス事業を通じて蓄積された  
技術・ノウハウの活用

## ライフ&ビジネスソリューション事業

## Daigasグループの利益構成

セグメント別利益（2017年度）



2017年度セグメント利益 (営業利益 + 持分法投資損益)	783億円
-----------------------------------	-------

国内エネルギー・ガス以外が  
約5割

■ 国内エネルギー・ガス事業

ガス販売、ガス機器販売、ガス配管工事、  
熱供給、LPG販売、LNG販売、産業ガス販売

■ 国内エネルギー・電力事業

発電、電気供給

■ 海外エネルギー事業

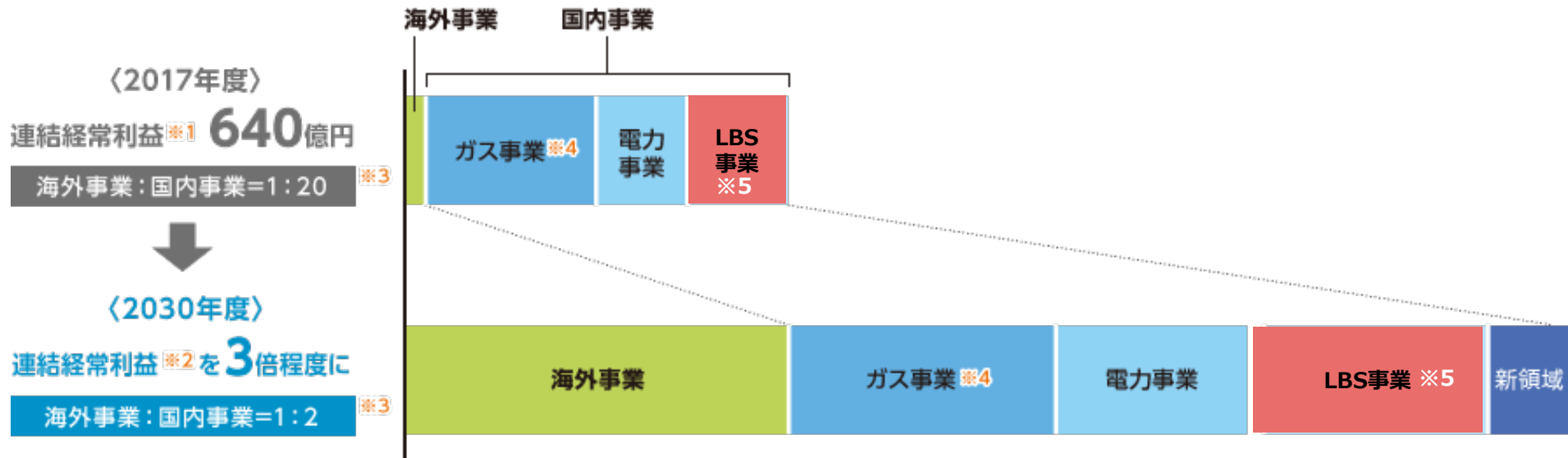
海外におけるエネルギー供給、発電  
LNG輸送タンカーの賃貸、  
石油・天然ガスに関する開発・投資

■ ライフ&ビジネスソリューション (LBS) 事業

不動産の開発・賃貸、情報処理サービス、  
ファイン材料・炭素材製品の販売

# 3.Daigasグループ長期経営ビジョン・中期経営計画 ~Going Forward Beyond Borders~

# 2030年度に目指す姿



連結経常利益を  
**3倍程度**

海外事業比率を  
**1/3**

※1 油価55ドル／バレル、為替115円／ドル前提    ※2 油価70ドル／バレル、為替115円／ドル前提  
 ※3 連結経常利益ベース  
 ※4 ガス事業利益には機器販売やLNG販売等を含む    ※5 Life & Business Solutions

## 2030年度に目指す姿に向けた取組み①

### 9つの事業分野 を成長

#### 【事業分野】

新時代のエネルギーマーケット  
として展開

1 ガス製造・販売※

2 ガス配給

3 電力発電・販売

海外エネルギー事業の  
展開の加速

4 海外上流  
・トレーディング

5 海外中下流

9 新領域の拡大

LBS事業の拡大

6 都市開発

7 材料

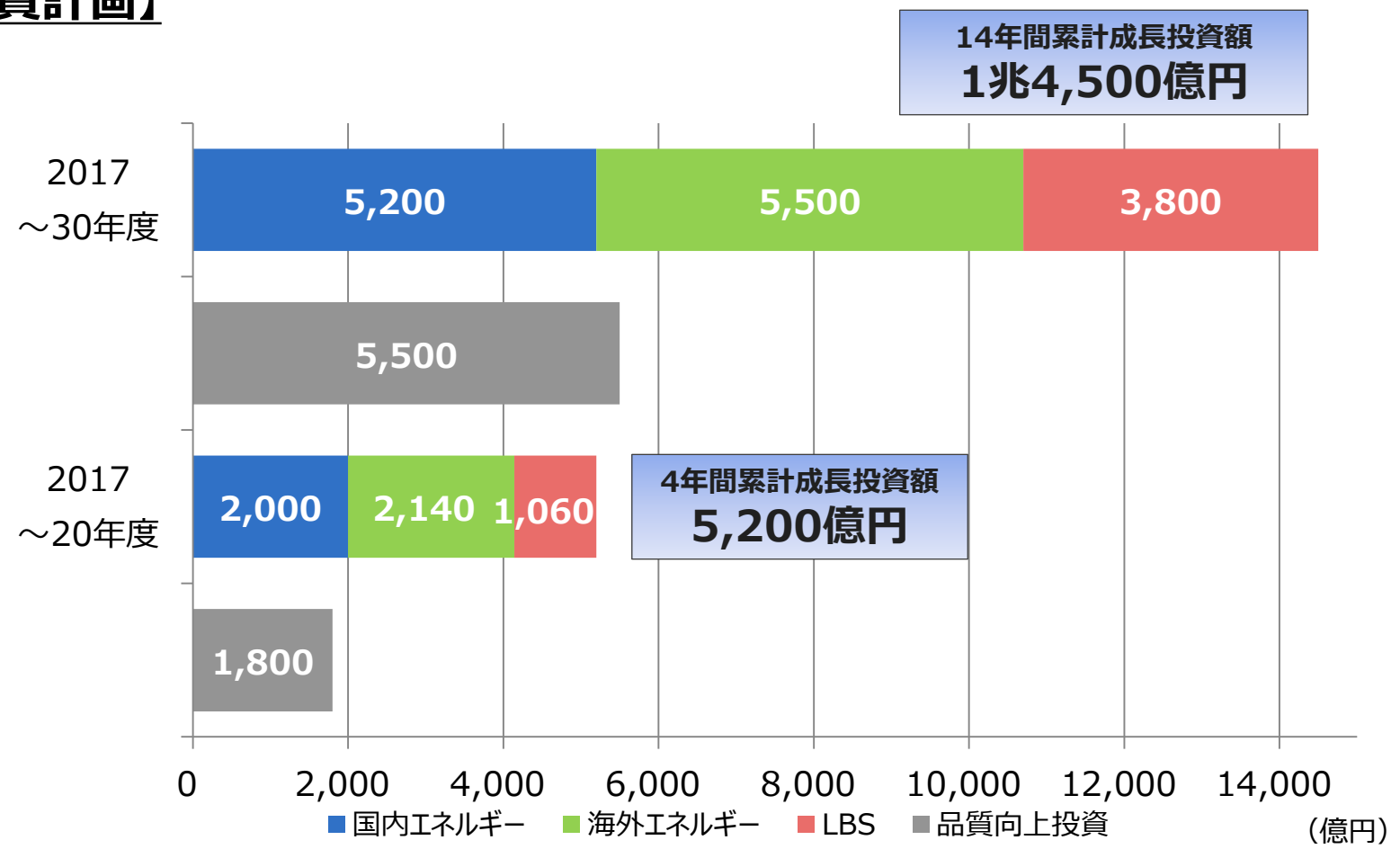
8 情報

※ 機器・サービス販売やLNG販売等を含む



# 2030年度に目指す姿に向けた取組み②

## 【投資計画】



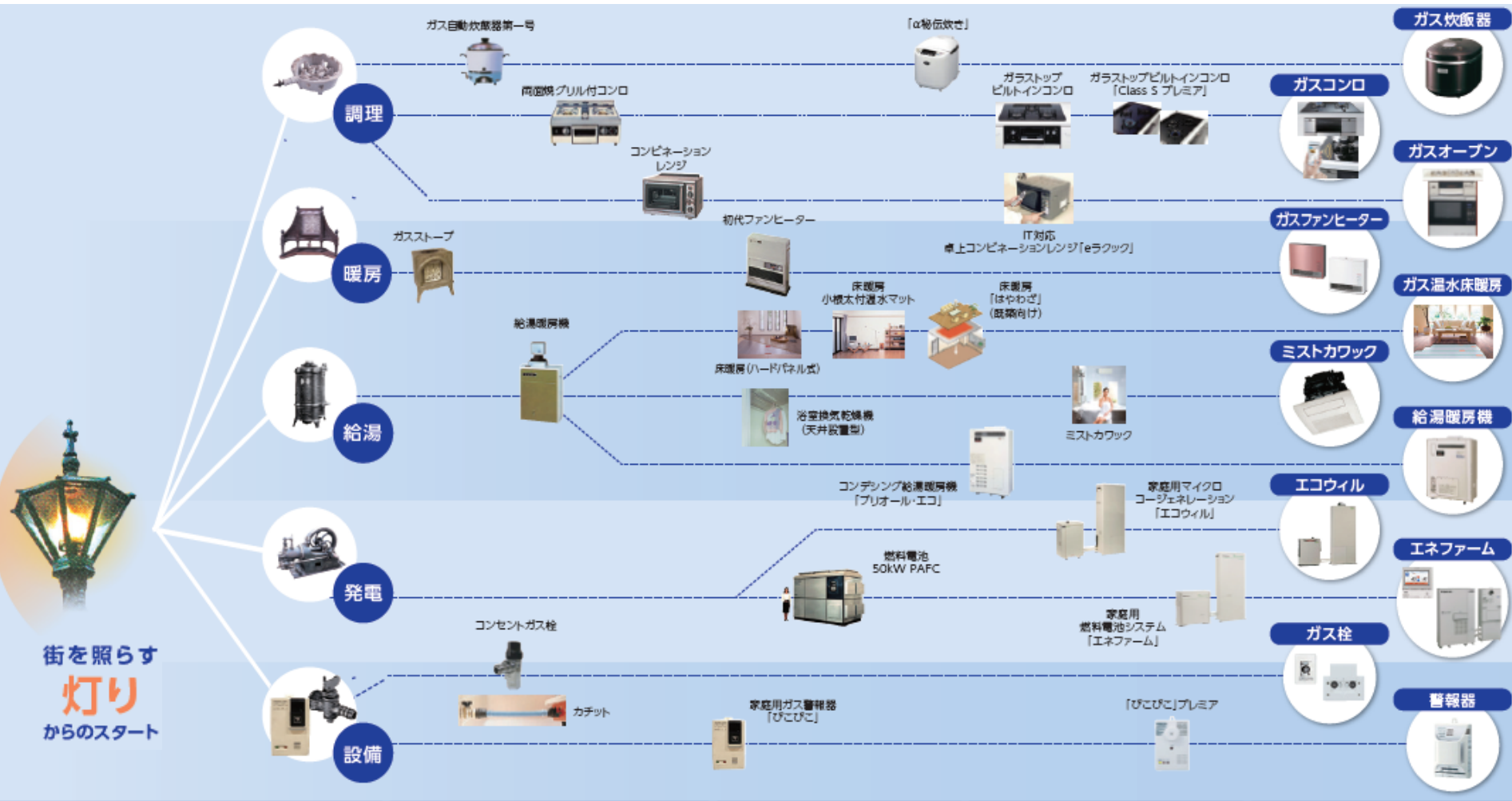
※定量的なリスク管理を行うと共に、「自己資本比率50%程度」、「D/E比率0.7程度」を中長期的に維持

## (1) 国内エネルギー事業

# ガスの用途開発の歴史

様々な用途開発

機能・付加価値向上



## 新時代のエネルギーマーケットとして展開

関西圏及び関西圏以外でもエネルギー&サービスを総合的にご提供



## 自由化開始後の競合状況

### 電力小売：獲得状況

2018年9月末時点  
77万件超  
(供給件数)

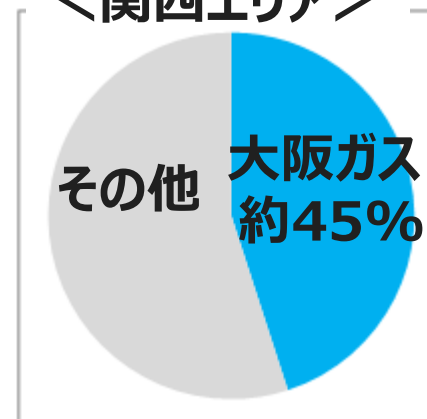
実績：2016年度末 30万件  
2017年度末 62万件

### (参考) ガス小売：スイッチング状況

2018年9月末時点  
64.5万件

関西のスイッチング件数  
(資源エネルギー庁公表)

### <関西エリア>



大阪ガス調べ

関西の新電力シェア  
No.1

# 大阪ガスの強み

## 大阪ガスの強み

Face to Face  
でのつながり

サービスチェーン	約200店舗
サービススタッフ	約1,300人

### 高品質な安心安全の実現

- ・365日対応の受付体制（ガス機器修理は24時間対応）
- ・200店舗、1,300人体制
- ・専門スタッフによる即日訪問
- ・高い顧客満足度



ライフスタイルに応じた  
ガス・電気の料金メニュー

大阪ガス専任スタッフが料金プラン  
**GAS得プラン**

もっと割料金

あきない割料金



大阪ガスの電気💡

お客さまの暮らしを  
ワンストップでサポート



もっと、住まいのミカタに。



- ・最新ガス機器の提案
- ・水まわり修理
- ・エアコン修理
- ・ハウスクリーニング
- ・リフォーム 等

「住ミカタ・プラス」

住まいトラブルの駆付けサービス

暮らしのサポートサービス



# 住ミカタ・プラスのサービス拡充



- まもリユック**
- 避難グッズをお客さま宅へお届けし、水や保存食等、の消費期限を一元管理し、期限を迎える前に新しい商品をお届け

- みまもッテル**
- 離れて暮らすご家族へ定期的にお電話して健康状態や生活状況を確認し、健康に関するアドバイスを実施
  - また、その結果をご依頼者さまへメールでご報告

- めちやくクーポン**
- レジャー施設や飲食店の利用、家事代行など幅広いサービスの優待や割引価格でのご提供
  - 当社グループのサービスもオリジナルメニューとして設定

- あずかるリック**
- 特定の季節に利用する衣類や思い出の品、趣味の品等をお預かり
  - 保管中の荷物は1点ずつ写真を撮影し、スマートフォンアプリによって簡単に閲覧、取り出し、販売、譲渡が可能

- 水まわりパック**
- キッチン、浴室等の水漏れ確認、接続部の締め直し
  - ファイバースコープでの排水管の詰まり・汚れ確認、お手入れ

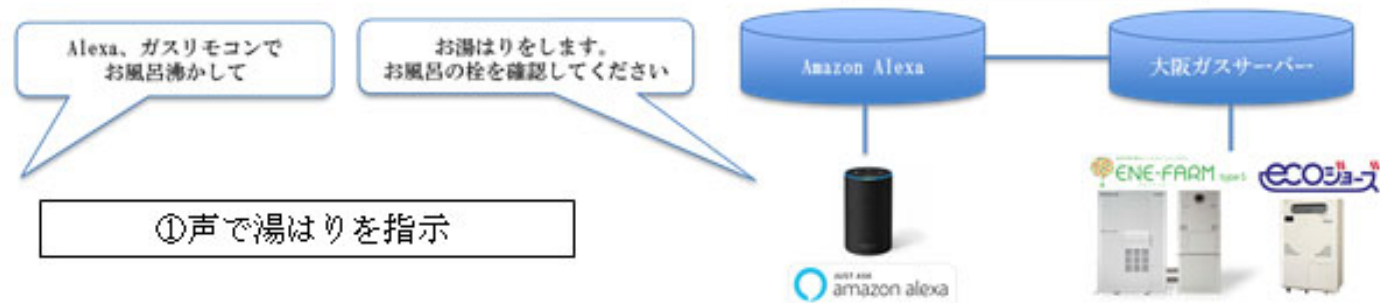
- 照明パック**
- リビング、ダイニング、キッチンのLED照明への交換方法、各部屋の適切な明るさをアドバイス

- 床下パック**
- 床下のシロアリ被害・侵入経路、水漏れ等の確認

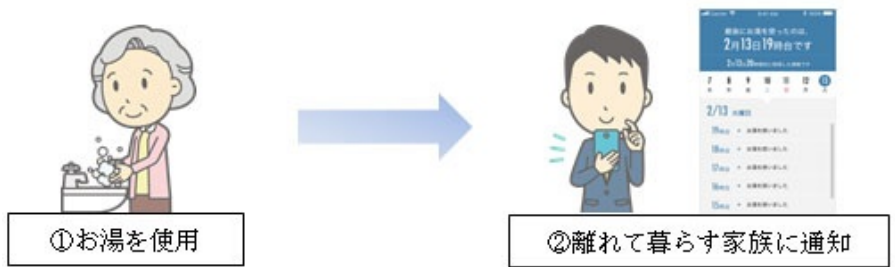


# IoTを活用した新たなサービス


## スマートスピーカーを経由したガス機器操作



## スマートフォンアプリでの「お湯モニター」サービス



## スマートフォンアプリでの「暮らしのお知らせ」サービス



配信文言例

カビ抑制には換気扇より浴室乾燥機が効果大

カワックの週3日乾燥運転で、カビが換気扇使用の約200分の1に(当社実験)。毎日運転すればさらに効果的！

明日は雨の備えを！

明日の天気予報は雨模様。雨の備えが必要です。雨傘の用意だけでなく、家事も雨の日を想定しましょう。

## ガス使用量内訳見える化サービス





# スタイルプランPの設定（電気+Amazonプライム）

便利な配送特典や、  
Prime Video、Prime Music、  
プライム・フォト等のデジタル特典を  
追加料金なしで  
利用可能！



※ Amazonプライム年会費は大阪ガスが負担

## 4人家族のケース

370kWh/月お使いの場合



しかも  
どなたでも  
おトク！<sup>※</sup>

関西電力「従量電灯A」と  
Amazonプライムを別で契約  
される場合と比較して



2人家族の  
ケース

286kWh/月お使いの場合

約2,300円/年  
おトク！<sup>※</sup>



3人家族の  
ケース

344kWh/月お使いの場合

約4,600円/年  
おトク！<sup>※</sup>



※ 試算条件：2018/8適用単価で比較

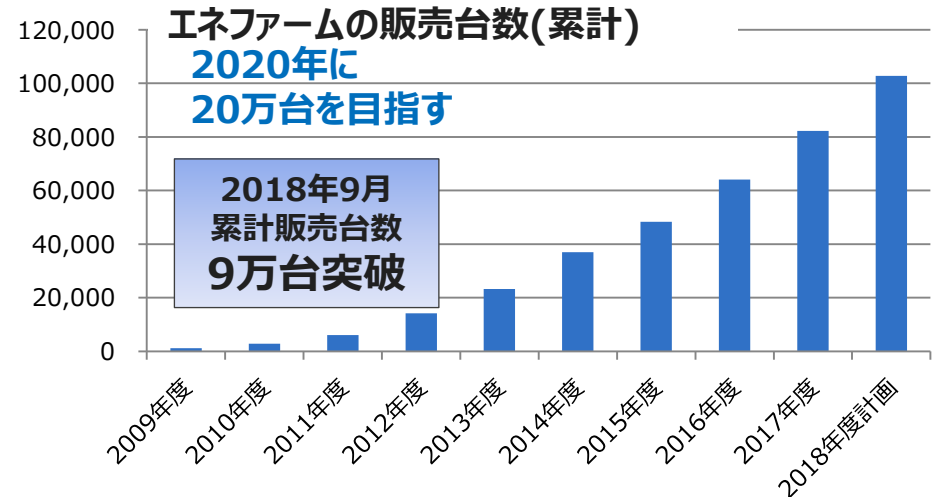
燃料費調整額、消費税等相当額含む。再生可能エネルギー発電促進賦課金含まない

モデルケースはマイ大阪ガスアンケート結果（n=8,938）より算出。お客さまの使用状況によりおトク額は変動

# 新たな商品の販売拡大

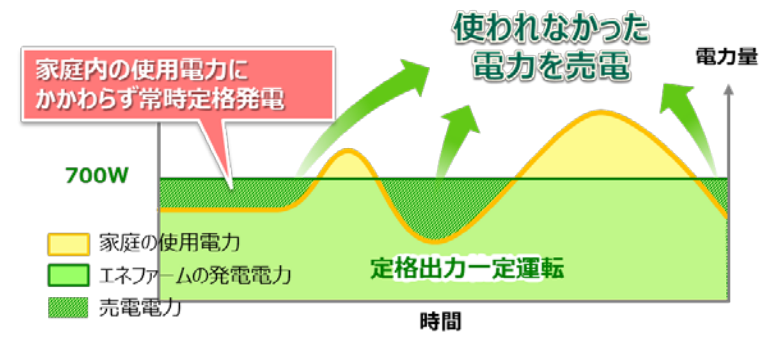


**世界最小サイズ・  
世界最高発電効率**  
(2018年1月29日現在)



## エネファームtypeS新製品の主な特長

高効率	エネルギーを最大限に生かし、暮らしの中で、電気をつくる。
経済性	おトクな料金メニュー。
環境性	一次エネルギー消費量とCO2を、同時に削減。
設置性	世界最小、コンパクト設計。広がる設置性。
余剰電力 売電	24時間、高効率な発電をキープ。 <b>余った電気は、おトクにシェア。</b>
快適性	運転状況の遠隔見守りと10年間のフルメンテナンス。
利便性	家中どこでも、外出先からも、 <b>ガス機器を遠隔操作。</b>
防災性	<b>停電が発生しても自立運転で発電を継続。</b> 給湯・暖房も使用可能。



**省CO2**  
0.7 t-CO<sub>2</sub>/年の  
CO<sub>2</sub>削減  
約1.4倍の効果

## 首都圏市場への事業拡大

- 2018年5月22日 小売電気事業およびガス小売事業の登録
- 2018年5月31日 **東急パワーサプライ**と首都圏のご家庭向け都市ガス小売サービスにおける業務提携
- 2018年6月11日 首都圏におけるエネルギー等の販売事業開始
- 2018年8月22日 **エネアーク**と首都圏の都市ガス販売事業における業務提携
- 2018年9月14日 **アルヒマーケティング**と電気・ガス販売に関する業務提携

2018年10月時点  
の契約獲得件数  
**3.6万件**

項目	概要
社名	株式会社CDエナジーダイレクト
事業内容	首都圏における電力・ガスおよび暮らしやビジネスに関わるサービスの販売
設立	2018年4月2日
資本金	17.5億円
出資比率	中部電力:大阪ガス 50:50

<新会社ロゴ>



<設立記者会見>



## 広域エネルギー事業の展開

### 地域、企業の枠を超えた活動を展開

#### 大津市ガス特定運営事業等における優先交渉権者に選定

- ガス小売事業、一般ガス導管事業に関する業務（緊急保安業務等）、水道事業に関する業務（緊急対応業務等）等
- 2018年10月選定
- 2019年4月事業開始予定

#### 長岡炭酸(株)設立

- 液化炭酸ガスおよびドライアイスの製造設備
- 製造能力：150トン/日  
（液化炭酸ガス・ドライアイス合計）
- 出資比率：100%
- 2018年9月設立
- 2021年4月運転開始予定

#### (株)リライアンスエナジー沖縄出資

- エネルギーサービス事業、エネルギーの効率利用等
- 出資比率：15%
- 2018年4月出資

#### 扇島都市ガス供給(株)

- 液ガス式熱量調整
- 設備：270t/h
- 出資比率：15%
- 2017年10月設立
- 2020年4月運転開始予定

#### (株)ひむかエルエヌジー（仮称）設立合意

- 旭化成延岡地区向け天然ガスインフラ設備の建設、保有、運営（LNGタンク6,500kL、内航船受入設備、LNG気化器、ガス導管など）
- 出資比率：34%
- 2018年9月設立合意
- 2018年12月設立予定

#### (株)CDIエナジーダイレクト設立

- 首都圏における電力・ガスおよび暮らしやビジネスに関わるサービス販売事業
- 出資比率：50%
- 2018年4月設立



# 当社の保有電源

2018年9月時点の  
国内電源容量  
約200万kW

2018年9月時点の  
再生可能エネルギー電源容量  
約20万kW

## 火力電源

- ① 泉北天然ガス発電所
- ② 姫路製造所
- ③ 泉北製造第所一工場
- ④ (株)ガスアンドパワー 西島エネルギーセンター
- ⑤ 中山共同発電(株) 船町発電所
- ⑥ 中山名古屋共同発電(株)名古屋発電所※

※名古屋発電所、石炭とバイオマス（再生可能燃料）の混成火力

## コージェネレーション電源

- ⑦ (株)ガスアンドパワー宇治エネルギーセンター
- ⑧ (株)ガスアンドパワー摂津エネルギーセンター
- ⑨ (株)OGCTS千里エネルギーセンター

## 再生可能エネルギー電源

### 事業用風力発電所

- ⑩ 葉山風力発電所
- ⑪ 広川明神山風力発電所
- ⑫ 由良風力発電所
- ⑬ 肥前風力発電所
- ⑭ 肥前南風力発電所
- ⑮ 平生風力発電所

### 事業用太陽光発電所

- ⑯ 西島太陽光発電所
- ⑰ 西島第二太陽光発電所
- ⑱ 勝央太陽光発電所
- ⑲ 広川明神山太陽光発電所
- ⑳ 名張近鉄ガス(株)八幡太陽光発電所
- ㉑ 日揮みらいソーラー(株)  
日産グリーンエナジーファームイン大分発電所
- ㉒ 由良太陽光発電所
- ㉓ 松阪バイオマス発電所



⑩ 葉山風力発電所  
2.0万kW



⑯ 西島太陽光発電所  
2.9千kW

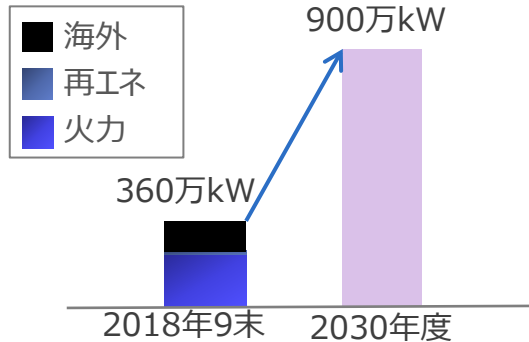


① 泉北天然ガス発電所  
110.9万kW



# 今後の電源開発投資

## <電源ポートフォリオ(国内外)>



※ 外部調達（ネガワット取引含む）、国の制度設計の状況等により、市場・他社からの調達割合などを継続検討

2030年度時点の  
電源容量  
**900万kW\***

2030年度時点の  
再生可能エネルギー電源容量  
**100万kW**

**(建設中) 尻別風力開発(株)**

(尻別風力発電所)

- 設備：2.53万kW
- 出資比率：95%
- 2018年3月取得
- 2021年2月運転開始予定

**(建設中) 福島ガス発電(株)**

(福島天然ガス発電所)

- 燃料：天然ガス
- 設備：118万kW (59万kW×2)
- 出資比率：20%
- 2016年10月取得
- 2020年春運転開始予定

**(建設中) 市原バイオマス発電(株)**

(市原バイオマス発電所)

- 燃料：バイオマスパーム椰子殻 (PKS)、木質ペレット
- 設備：4.99万kW
- 出資比率：39%
- 2017年9月設立
- 2020年10月運転開始予定

**(稼働中) 印南風力発電(株)**

(印南風力発電所)

- 設備：2.6万kW
- 出資比率：95%
- 運転開始：2018年6月稼働済

**(建設中) 袖ヶ浦バイオマス発電(株)**

(袖ヶ浦バイオマス発電所)

- 燃料：バイオマス (木質ペレット)
- 設備：7.5万kW
- 出資比率：100%
- 2018年7月設立
- 2022年7月運転開始予定

## (2) 海外エネルギー事業

# 海外エネルギー事業の取組み

## 上流・トレーディング事業

## 中下流事業

ガス田・油田  
開発

LNG  
トレーディング

IPP※1

LNG基地

LDC※2

小売・  
エネルギーサービス

最大限活用

### 国内事業のノウハウ



天然ガス  
発電所



LNG基地



燃料転換



配船  
オペレーション

### これまでの海外事業基盤



米国フリーポート  
LNG基地※3  
(建設中)



米国セント  
チャールズIPP



City-OG  
Gas Energy  
Services



OSAKA  
GAS  
THAILAND

### 事業展開方針

- ① 重点活動地域、各地域の重点事業に経営資源を集中投下
- ② 相互補完できるパートナー企業との協業M&Aの活用により事業展開を加速
- ③ 事業関与を高め、事業推進力を向上（人材の育成、スピーディな意思決定体制の整備等）

※1 Independent Power Producer(独立系発電事業者) ※2 Local Distribution Company(地域配給会社)

※3 Freeport LNG Development, L.P.提供(完成予想図)



# 上流事業の取組み事例



## ◇ 本事業の概要

- 所在地 : 米国テキサス州東部
- 鉱区面積 : 約500km<sup>2</sup> (大阪市の2倍強)
- 開発対象 : ヘインズビル層、コットンバレー層
- 産出資源 : 天然ガス、コンデンセート  
天然ガス液 (※2)

## ○ 出資者 (出資比率)

- : サビン社(約55%)、大阪ガス (約30%)  
その他権益者 (約15%)

(※2) NGL (Natural Gas Liquids) の訳語。  
天然ガスから分離・回収した液体炭化水素で、常温・  
常圧では液体となるもの



掘削機



水圧破碎現場

## 中下流事業の取組み事例

### <米国・ミシガン州>



- ◇ 本事業の概要
- ミシガンパワー天然ガス火力発電事業
- 所在地 米国・ミシガン州
- 発電能力 12.5万kW
- 商業運転開始 1995年10月
- 出資者（出資比率） 大阪ガス(100%)

### <米国・コネチカット州>



- ◇ 本事業の概要
- クリーンエナジー天然ガス火力発電事業
- 所在地：米国・コネチカット州
- 発電能力：62万kW
- 商業運転開始：2011年7月
- 出資者（出資比率）  
：大阪ガス(24.3%)、九州電力（20.25%）  
双日（20.25%）、既存株主（19%）  
中国電力（16.2%）

# 海外案件



- LNGプロジェクト・ガス田などのアップストリーム（上流）事業への参画案件
- エネルギー関連などの海外ダウンストリーム（中下流）事業への参画案件
- 大阪ガス 関係会社（海外エネルギー事業関連）

## (3) ライフ&ビジネスソリューション事業

## ライフ&amp;ビジネスソリューション事業の展開

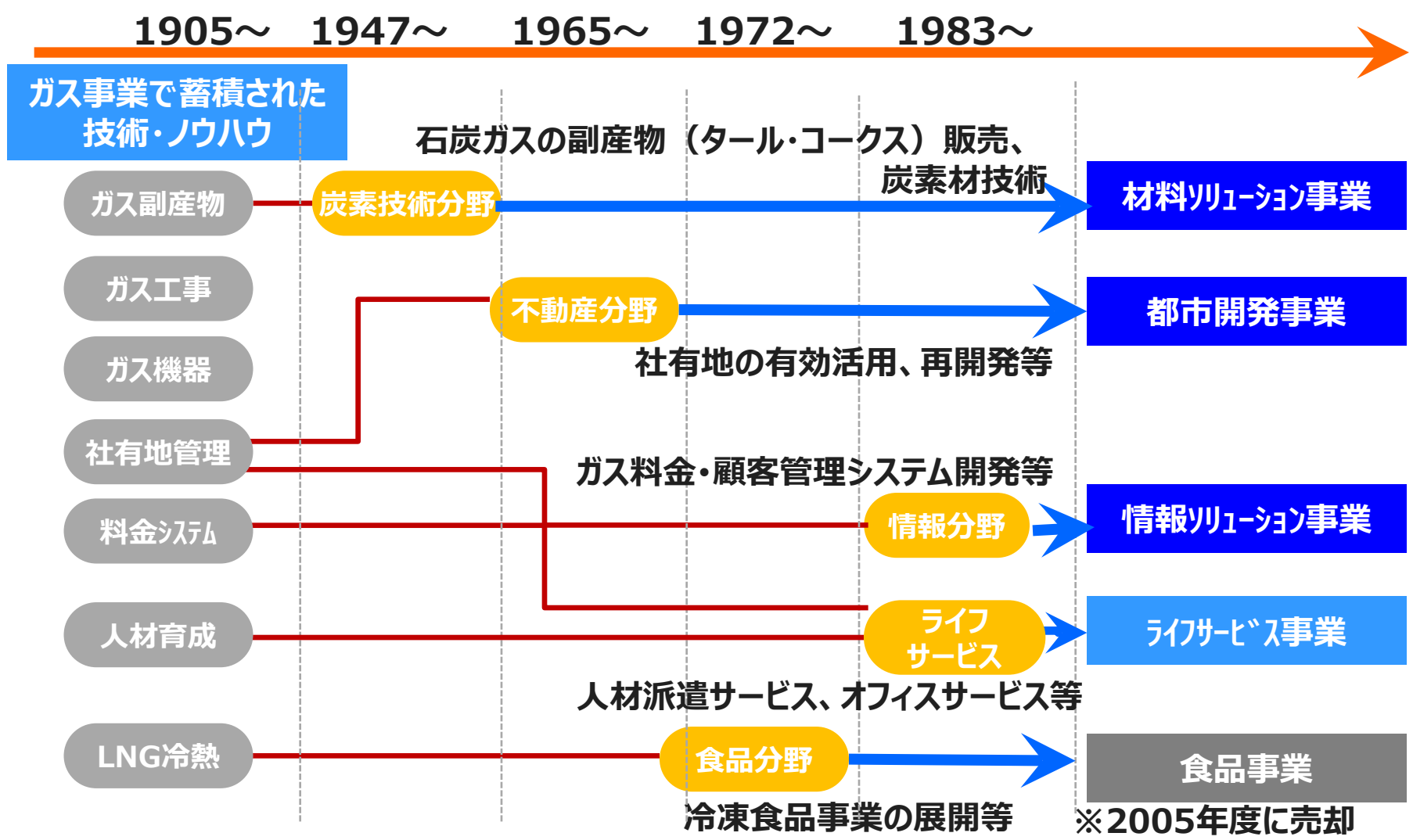
## 事業拡大・補強のためのM&amp;A

2005年	日本エンバイロケミカルズ（生活環境事業）
2006年	さくら情報システム（ソフトウェア開発、情報処理サービス）
2013年	Sutton and East Surrey Water（英国水道事業）
2013年	Jacobi Carbons AB（活性炭事業）
2015年	水澤化学工業（吸着剤事業等）
2017年	アグニコンサルティング（業務・ITコンサルティング事業）

## 事業集中のための株式売却

2005年	キンレイ（外食・食品事業）
2006年	パレット（生活雑貨販売店舗の運営事業）
2012年	オーユーデー（温浴事業）
2014年	エルネット（フリーペーパー事業）
2015年	プラネットワーク（ブライダル事業）
2015年	大阪ガスコミュニティライフ（マンション・ビル管理）
2016年	大阪ガスエクセレントエージェンシー（人材派遣）

# ライフ&ビジネスソリューション事業の展開





# ライフ&ビジネスソリューション事業の拡大

## <現在の主要事業>

### 都市開発事業



- ・住宅/オフィス賃貸
- ・住宅分譲

2017年度の  
実績売上高

**430億円**

ガス利用促進による  
ガス事業とのシナジー発揮  
高い入居率（97%超）



2020年度の  
想定売上高

**520億円**

関西圏に加え、  
首都圏での事業拡大

### 材料ソリューション事業



- ・ファイン材料
- ・CF材料
- ・保存剤
- ・活性炭 など

**734億円**

石炭化学技術の応用展開  
レンズ材料や液晶部材では、  
世界トップシェアを誇る



**900億円**

海外を主戦場に、ニッチ市場で  
トップレベルのポジションを持つ

### 情報ソリューション事業



- ・コンサルティング
- ・システム開発
- ・サービスビジネス

**669億円**

ガス料金システムからスタート  
金融・製造・流通公益・運輸等  
幅広い業種で外販



**700億円**

技術と実績を活かして  
クラウドサービス事業を拡大

# (ご参考) 材料ソリューション事業

## ファイン材料事業

光学特性・耐熱性に優れたフルオレンの多用途展開を実現

スマートフォンなどのカメラレンズ用樹脂、半導体関連素材、液晶ディスプレイ



## 炭素材料事業

断熱性・耐摩耗性に優れた炭素繊維「ドナカーボ」の拡販

太陽電池用シリコン製造炉向け成形断熱材



鉄道車両の吸音断熱材



## 活性炭事業

大阪ガスケミカル、Jacobiグループの連携でグローバルにバリューチェーンを拡充

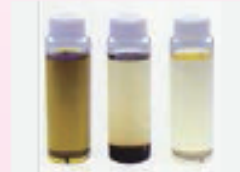
食品・酒・医薬品製造工程の精製用活性炭、空気清浄機や浄水器フィルター



## シリカ・アルミナ系材料事業

吸着剤・添加剤の販売拡大と新規用途への挑戦

石油精製用活性白土、食用油精製用活性白土



## 保存剤事業

木材保存剤・工業用保存剤・産業用コーティング加工剤の更なる展開

木材保護塗料「キシラデコール®」、シロアリ防除剤「キシラモン」





# 枠を超えるためのイノベーションの推進

## イノベーション本部の創設

- **ビジネス変革による新たな価値創造**を目指し創設
- イノベーション推進部を設置し、**全社のイノベーション活動を一元的に推進**

## オープンイノベーションの進化

- 技術分野にとどまらず、サービス分野も含めた多様な**パートナー企業との連携**
- **シリコンバレー拠点活動の強化**
- **国内外スタートアップとの連携**



## デジタル化の推進 技術の探求

- IoT、AI活用による**便利な生活サービス、ビジネスソリューション**
  - **分散型エネルギーリソースとICT活用による電力ビジネス**
  - デジタル化による**インフラ高度運用**
  - **燃料電池など革新的な技術開発**
- <機器・エネルギーから暮らしの革新へ>



パラダイム転換  
に備えたビジネス変革

お客さまの期待  
を超える商品・サービス

抜本的な業務改革  
の実現

## (4) 目標指標

## 中期経営計画2020の目標指標

		2017年度 実績	2018年度 見通し	2020年度 計画
収益性 指標	ROA	2.0%	1.9%	3.5%
	ROE	3.8%	3.6%	7.0%
	EBITDA※1	1,671億円	1,465億円	2,000億円
株主 還元	配当性向		30%以上※2	
健全性 指標	D/E比率		0.7程度	
	自己資本比率		50%程度	

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 持分法投資損益

※2 短期的な利益変動要因を除く

## 長期経営目標

長期経営目標項目		2016年度	中期経営計画 2020年度	長期経営ビジョン 2030年度
事業領域 の拡大	電源調達容量※1	328万kW	→	900万kW
	お客さまアカウント数	約800万件	→	1,000万件以上
	天然ガスビジネス規模	960万トン	→	1,700万トン
品質向上	各接点における お客さま満足度	93%	94%	95%
安心・安全	ガス導管、ガス製造・ 発電事業における 安心・安全の確保	重大事故ゼロの継続		
環境・CSR	CO2排出削減量※2	-	約700万トン	<b>約7,000万トン</b>
投資	成長投資額※3	-	5,200億円	1兆4,500億円
	品質向上投資額※3	-	1,800億円	5,500億円

※1：国の制度設計の状況等により、市場・他社からの調達割合などを継続検討

※2：2017～2020年度の削減量累計と2017～2030年度の削減量累計（2016年度比）

※3：2017年度からの累計投資額

# 4.ESGへの取組み

## ESGへの取組み内容

### 環境性 (Environment)

- ・家庭用燃料電池システム  
「エネファーム」の普及によるCO2の削減
- ・環境方針の策定  
環境マネジメント体制の整備・運用

家庭用燃料電池システム  
「エネファーム」



年間のCO2排出量  
52%削減\*

\*エネファーム発電700whあたり、従来のシステム  
(火力発電+従来給湯器)との比較

### 社会 (Society)

- ・安全の確保
- ・地域コミュニティの発展への貢献
- ・人権への取り組み等を強化

### ガバナンス (Governance)

- ・内部統制、リスクマネジメントの仕組み  
(担当役員、各種委員会の設置など)の整備
- ・公正な事業慣行、情報セキュリティ対策、  
従業員・役員のダイバーシティなどへの取り組み

## ESGへの取組みに対する評価

- MSCI ESG レーティング(2018年8月現在)



トリプルA

- Dow Jones Sustainability Index

MEMBER OF

**Dow Jones  
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

2年連続  
ワールド選定

10年連続  
アジア選定

- \*1 Socially Responsible Investmentの略で、従来の財務分析による投資基準に加え、企業の社会的責任に関する評価を判断材料として行う投資方法
- \*2 アメリカのS&P Dow Jones Index社とスイスのRobecoSAM社が1999年に開発したSRI指標であり、企業の「環境」・「社会」・「企業統治」の各分野を分析・評価し、持続可能性に優れた企業を選定するもの

## 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のESG指数選定

### ■ GPIF（GOVERNMENT PENSION INVESTMENT FUND）の概要

- ・ 厚生年金保険法及び国民年金法の規定に基づき厚生労働大臣から寄託された積立金の管理及び運用を行うと共に、その収益を国庫に納付することで、厚生年金保険事業及び国民年金事業の運営の安定に資することを目的
- ・ 2017年12月末の運用資産総額が約163兆円、内 約42兆円を国内株式で運用

### ■ 選定したESG指数

種別	指数名
総合型	FTSE Blossom Japan Index
総合型	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
テーマ型・社会（S）	MSCI日本株女性活躍指数（愛称はWIN）
<b>テーマ型・環境（E）</b>	<b>S&amp;P/JPX カーボン・エフィシエント指数</b>



# 5. 業績の推移

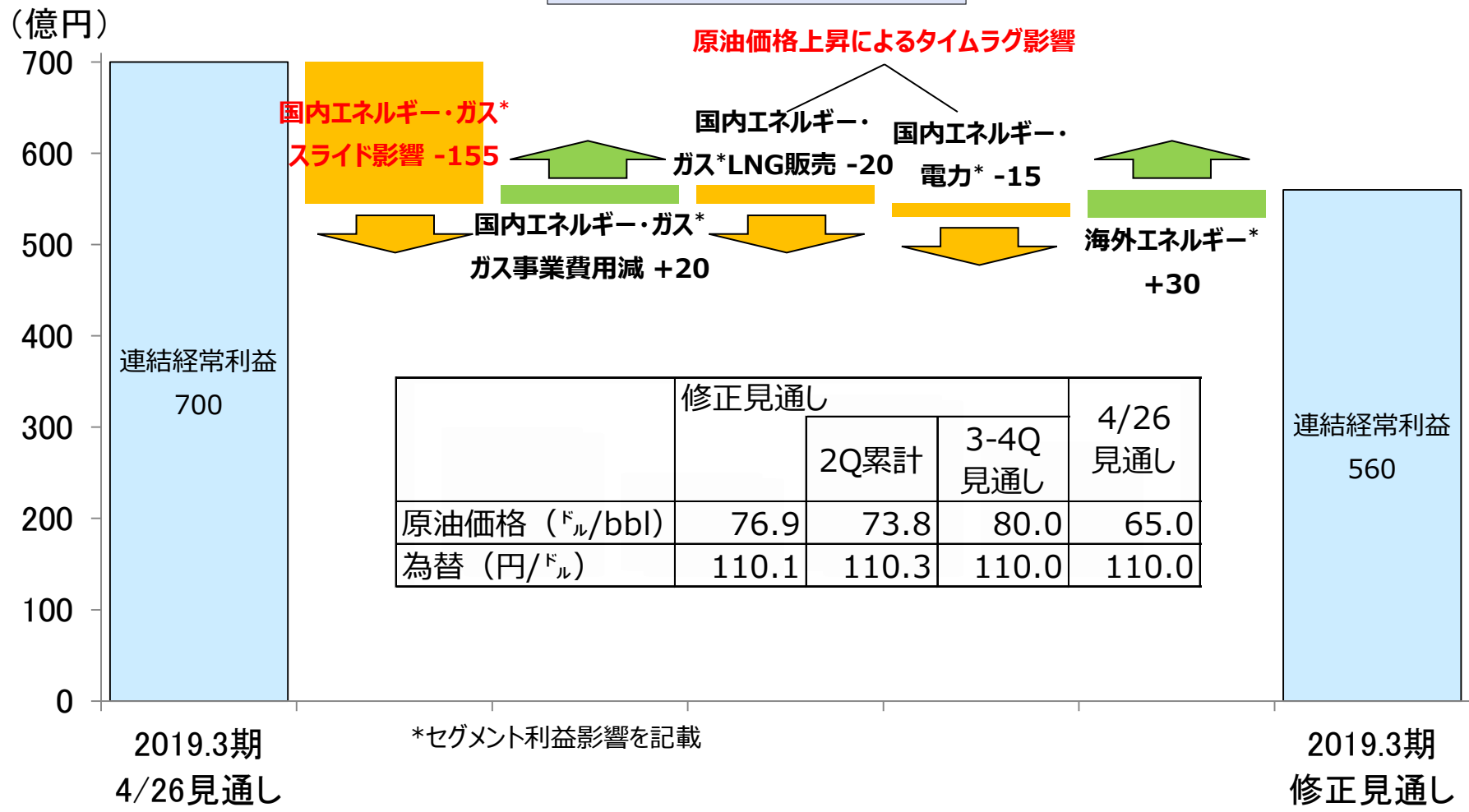
## 業績の推移と見通し

連結：億円	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 4/26見通し	2018年度 修正見通し
売上高	13,220	11,838	12,962	13,600	14,000
営業利益	1,466	972	781	740	590
<b>経常利益</b>	<b>1,349</b>	<b>962</b>	<b>770</b>	<b>700</b>	<b>560</b>
当期純利益	843	612	377	465	360
EPS(¥/株)*	202.6	147.3	90.7	111.8	86.5
ROE*	9.4%	6.6%	3.8%	4.6%	3.6%
スライド差損益	817	137	5	27	-127
<b>スライド差損益除く 経常利益</b>	<b>532</b>	<b>824</b>	<b>765</b>	<b>672</b>	<b>687</b>
為替レート (¥/\$)	120.2	108.3	110.9	110.0	110
原油価 (\$/bbl)	48.7	47.5	57.0	65.0	76.9

\*株式併合（5株を1株）影響を考慮

# 19.3期見通しの対前回見通し比較

連結経常利益見通し  
対前回見通し ▲ 140億円



# スライド差損益について

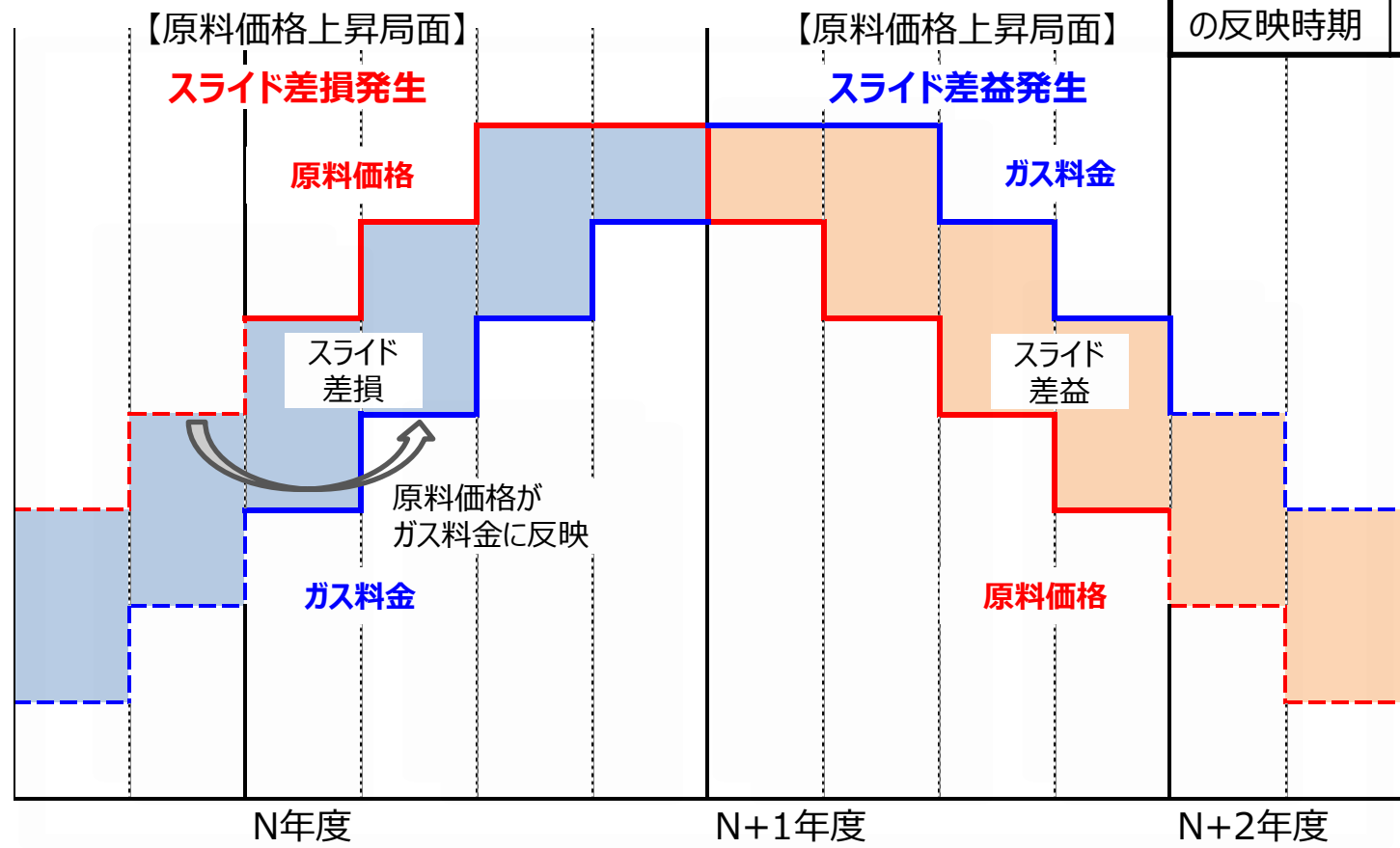
スライド差損益：原料費調整制度によりスライド差損益が発生

原料費調整制度：

- 為替レート、原油価格によって変動する原料費を、ガス料金に反映させる制度
- 基準となる原料価格と3ヶ月平均にて算出した貿易統計のLNG価格等の差額を毎月算定し、その結果を1m3あたりの従量料金に反映

【ガス料金への反映例】

原料価格の算定期間	1～3月	2～4月
販売価格への反映時期	6月	7月



以上